

2014 年度秋学期 統計学 第8回演習の解答例

この記事でいっているのは、あくまで過去の結果であり、これからのある1回の機会（1回のシリーズ）については何もいっていませんから、厳密には確率とはいえません。

ただ、過去の結果は、未来における確率を推測する手がかりにはなります。確率の推定とはまさにこのことで、過去の「十分多く」はない事例を手がかりに、将来の確率を予想することです。